

1 所属、職名、および人員

沿岸環境科学研究センター 生態・保健科学部門 助教1名

2 募集の背景

沿岸環境科学研究センター（以下、CMES）は、2016年（平成28年）に文部科学省より共同利用・共同研究拠点「化学汚染・沿岸環境研究拠点（以下、LaMer）」の認定を受けるなど、「アジアの環境研究拠点」としての役割を果たしています。CMESでは、3つの研究部門の一つである生態・保健科学部門の助教1名を公募します。同部門では、1）蚊媒介感染症を起こす蚊やウイルス、2）水環境中の薬剤耐性菌やウイルス、3）河川生物（昆虫、魚類、細菌）や環境DNAなどを対象に、生態、進化、生物多様性等を研究しています。同部門がこれらの研究に積極的に活用している次世代シーケンサー等から得られるデータのバイオインフォマティクス解析と共に、アジアを中心とする国際共同研究を推進できる方を募集します。

生態・保健科学部門は2024年度（令和6年度）から教授1名、特任講師1名、助教1名（本公募で採用）の3名で構成される予定です。本公募で助教に採用される方は、渡辺幸三教授と共同で研究室運営と研究・教育を行っていただきます。

3 職務内容

- （1） CMESの生態・保健科学部門における研究活動、研究室運営、研究室の学生指導
- （2） 理学部生物学コースおよび大学院理工学研究科における教育（講義、実習、演習）
- （3） CMESおよびLaMerの管理運営

4 研究分野

分子生物学、環境微生物学、ウイルス学、熱帯医学、生態学、あるいは土木環境システムに関連する研究分野。

5 給与

給与の額は、国立大学法人愛媛大学第2号年俸制教員給与規程の定めるところにより決定します。

6 勤務時間

就業時間：8時30分～17時15分（専門業務型裁量労働制あり）

休日：土日、祝日、年末年始他

7 応募資格

以下の全ての条件を満たす方。

- （1） 博士の学位を有する方、若しくは着任までに博士の学位を取得見込みの方。
- （2） 上述の生態・保健科学部門の研究に関連する優れた研究業績をあげている方[※]。
- （3） 国籍は問わないが、教育および管理・運營業務を日本語で実施できる方
- （4） 外国人留学生に英語で研究指導ができる方。

[※]次世代シーケンサー等から得られるデータのバイオインフォマティクス解析およびアジアを中心とする国際共同研究の経験がある方を歓迎いたしますが、必須条件ではありません。

[※]1）蚊媒介感染症を起こす蚊やウイルス、2）水環境中の薬剤耐性菌やウイルス、3）河川生物（昆虫、魚類、細菌）や環境DNAのいずれかを対象にした研究経験がある方を優遇します。1）～3）すべてを対象としている必要はありません。

8 雇用形態

常勤 専門業務型裁量労働制あり

9 雇用期間

- (1) 任期 5 年。ただし、テニユア資格（終身雇用）の審査に合格した場合テニユア職へ移行できる（※「テニユア教員育成制度」に関しては、「13 その他」をご覧ください。
- (2) 着任時期：2024 年（令和 6 年）6 月 1 日以降のできるだけ早い日。

10 勤務地

愛媛大学城北キャンパス（松山市文京町 3 番）

11 待遇

本学の定めによる。

12 応募方法

【提出書類】

- (1) 履歴書【様式 1】
- (2) 業績目録【様式 2】
- (3) 研究助成一覧【様式 3】
- (4) 国際的活動実績【様式 4】
- (5) これまでの研究・教育の概要【様式 5】
- (6) 着任後の研究・教育・社会貢献・管理運営に対する抱負【様式 6】
- (7) 推薦書 2 通（自己推薦は不可）【様式 7】
- (8) 主要論文 5 編以内の PDF

*（8）以外は沿岸環境科学研究センターホームページから様式をダウンロード願います。
(<http://www.cmes.ehime-u.ac.jp/>)

*（7）の推薦書は、推薦者から直接、下記の書類提出先のメールアドレスまで、添付書類として応募期限までにご提出ください。メール件名は「CMES 生態・保健科学部門教員応募推薦書」としてください。

【応募期限】

2024 年（令和 6 年）3 月 25 日

【書類の提出先および問い合わせ先】

〒790-8577 松山市文京町 2-5
愛媛大学沿岸環境科学研究センター
センター長 郭 新宇
TEL: 089-927-9824
e-mail: engan@stu.ehime-u.ac.jp

*応募書類は電子申請（電子メール）にて提出してください。

- 応募者は、（1）～（7）の書類を PDF ファイルとして添付し、メール件名を「CMES 生態・保健科学部門教員応募」としてお送りください。
- （8）推薦書は、2 名の推薦者から直接、ワードあるいは PDF ファイルとして添付し、メール

件名を「CMES 生態・保健科学部門教員応募推薦書」として応募期限までにお送りください。

電子申請から一週間経過しても受領確認の返信メールが届かない場合には、お手数ですが上記問い合わせ先に再度ご連絡ください。

1 3 その他

- (1) 一次審査（書類選考）の合格者に対してセミナーおよび面接を行う予定です。旅費は応募者の負担とします。ただし、一次審査通過者が海外在住の場合は、オンラインで実施する場合があります。
- (2) 個人情報保護のため、応募書類に記載された個人情報は、選考及び採用以外の目的には使用しません。また、応募の秘密は厳守します。なお、選考結果をHPで公表する際、採用決定者の氏名については公表させていただきます。
- (3) 愛媛大学では、総合力（教育力・研究力・マネジメント力）の高い大学教員の育成を目指して、平成25年4月から「テニュア教員育成制度」を導入しました。具体的には、新規採用された講師（医学系研究科、附属病院、先端研究・学術推進機構プロテオサイエンスセンター重信ステーション及び総合健康センターに所属する者を除く。）、助教（医学系研究科臨床系、附属病院及び総合健康センターに所属する者を除く。）及び実務家教員等（教授、准教授等）について、5年の任期を付し、任期中の最初の3年間で合計100時間の能力開発プログラムの受講を義務化するとともに、任期中の最初の3年間に財政的支援（研究費の配分等）を行います。テニュア資格（終身雇用）の審査については期間中の2年6月を経過した日から2年9月を経過する日までの3月間の期間内において中間審査を、4年4月を経過した日から4年7月を経過する日までの3月間の期間内において最終審査を実施し、中間審査または最終審査に合格した者をテニュア職に移行させます。最終審査に不合格となった場合は、5年で任期満了となります。なお、詳細についてはテニュア教員育成制度に関するHPをご覧ください。

(URL: <http://ts.adm.ehime-u.ac.jp/>)

- (4) **ダイバーシティ研究環境実現の取組**
本学は、男女共同参画社会基本法の趣旨に沿って教員の選考を行うとともに、ダイバーシティ研究環境実現の取組を推進しています (URL: <https://www.ehime-u.ac.jp/recruit/>)。

<若手研究者キャリア支援事業>

若手研究者（出産・育児負担のある女性研究者及び男性研究者）に研究活動の維持・促進、キャリア支援を行う目的で研究支援員を配置する制度です。

<研究者キャリア支援事業>

出産・育児・病気やけが等治療・介護・管理運営業務のため研究活動に支障が生じた場合、事案ごとに、研究者本人、または該当研究者が所属する研究室に研究支援員を配置する制度です。（管理運営業務に対する支援は女性研究者限定）

<夫婦帯同雇用支援事業>

教員のパートナーが研究者でありかつ別居している場合、当該研究者が一定期間研究活動を行うことができるように本学の研究者として採用する制度です。

<保育施設>

城北キャンパス内に「えみかキッズ」を設置しています。

<学童保育>

春・夏・冬の長期休暇中の学童保育を実施しています。

参考：2024年（令和6年）1月1日現在における沿岸環境科学研究センターの専任教員構成は下記の通りです。その他の情報については、本センターHP（<http://www.cmes.ehime-u.ac.jp/>）を参考にしてください。

環境動態解析部門

教授	郭新宇
教授	森本昭彦
准教授	加三千宣
助教	別公募で募集中

化学汚染・毒性解析部門

教授	岩田久人
教授	国末達也
准教授	野見山桂
准教授	田上瑠美
特任講師	仲山慶
特任助教	落合真理

生態・保健科学部門

教授	渡辺幸三
特任講師	大林由美子
助教	<u><本公募で募集中></u>

国際・社会連携室

教授	渡辺幸三（兼担）
特定准教授	鈴木康嗣